

# 教育家庭新聞

第1月曜日発行

2023年（令和5年）

9月4日

月曜日

第2239号

長月・玄月・菊月

宇宙の日（9/12）

敬老の日（9/18）

秋分の日（9/23）

## 教育マルチメディア号

発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8  
TEL：03（3864）8241代  
FAX：03（3864）8245  
郵便振替口座 1309-53693

購読申込み ☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp

ホームページ https://www.kknews.co.jp/

創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社 1部 480円

### 紙面案内

## 対話型生成AIの教育活用が始まる

対話型生成AIの校務活用については先月号で掲載したが、児童生徒活用も始まっている。好事例の多くが、児童生徒に対話型生成AIを体験させ、その活用について考え、討議する流れだ。ポイントは体験のさせ方にある。自分の身近な話題について生成AIと対話したり、グループ討議の1メンバーと位置付けたり、生成AIを使って作品を制作しており、単なる質問とは異なる点が共通している。詳細4・5面

■Twitter  
@kyoikukatei  
■紙面問合せ  
kks@kknews.co.jp  
■購読申込みはこちら→



### 記述式 デジタル採点ソフト 採点ナビ

えらべる  
クラウド版  
インストール版

— 無料お試しキャンペーン実施中 —  
株式会社 教育ソフトウェア

### 卒アル 制作業務を 劇的に短縮！

顔認証AIで生徒の  
登場回数を楽しくカウント！

撮影会社へ変更せずにご利用可能  
文科省の働き方改革事例集に掲載

☎03-6431-8071（平日11:00～18:30）

お問合せ先 アルバムスクラム 検索

EXEC 株式会社エグゼック 〒153-0054 東京都目黒区下目黒1-2-12 白金ビル

## 「教師を取り巻く環境整備」について緊急提言 できることを直ちに行う

文部科学省は8月28日、教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策、教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して緊急提言を公表した。学びの充実の多様な教師にかかっているにも関わらず、教師不足についての実態が日々加速しており、教育の質保障に甚大な影響を与えることが懸念されていることから、早急に改善するための施策をまとめた。また、8月28日に開催された中央教育審議会初等中等教育分科委員の高い教師の確保特別部会（第3回）では、本提言について今後、特に配慮すべきについて討議。特に、実効性高めするための保護者や地域への周知の重要性が指摘された。

本緊急提言は、教師不足は子供たちの学びの質に大きな影響を与えているため、教師不足に陥った原因を解決すると共に、今すぐできる対策を講じようという内容だ。

教師不足の原因で真っ先に挙げられるのが教員保障に甚大な影響を与えているため、教師不足に陥った原因を解決すると共に、今すぐできる対策を講じようという内容だ。

学校・教師が担う業務に関する3分類的  
基本的には学校以外が担うべき業務  
①登下校に関する対応 ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が輔導された時の対応 ③学校徴収金の徴収・管理 ④地域ボランティアとの連絡調整

学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務

⑤調査・統計等への回答等（事務職員等） ⑥児童生徒の休み時間における対応（給食、地域ボランティア等） ⑦校内清掃（給食、地域ボランティア等） ⑧部活動（部活動指導員等）

教師の業務だが負担軽減が可能な業務

⑨給食事への対応 ⑩授業準備（サポートスタッフ等） ⑪学習評価や成績処理（サポートスタッフ等） ⑫学校行事の準備・運営（事務職員等、外部委託等） ⑬進路指導（事務職員や外部人材等） ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携）

文科省公表資料より作

進める上での最大の懸念点は「地域や保護者の理解不足であり、これについては、国が本提言の内容をわかりやすくまとめる、周知していくべきである」としている。また、複数の委員から指摘された。

業務の適正化で働き方改革実効性向上  
学校・教師が担う業務量の適正化のための第一歩として挙げられたのが、2010年の中央教育審議会答申で示された「学校・教師が担う業務

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

は、現金徴収から口座振替へ変更し、未納者への督促を含め、徴収・管理を地方公共団体の職員の業務とする、各校の事務職員が連携して処理を行う等である。今後、学校が関与しない仕組みの構築を強く求めている。学校保護者間の連絡手段の

### 未来の学びフォーラム2023リアルより 関連4面

「学校教育のこれから―人生100年時代における学校教育の未来を展望する」をテーマに、合田哲雄・文化庁次長と遠藤洋路・熊本市教育長が登壇、「誰一人取り残さない」ための次期学習指導要領と学校の仕組みについて示唆した。

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

### 合田哲雄・文化庁次長 遠藤洋路・熊本市教育長

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

合田「生成AIが当たり前の社会で子供が育つためには、教育の構造そのものを再考する必要がある。あと4年でするのだから、年度度で考える必要がある。問題点は、学校という枠に所属していなければならないが、受けられない点で

## 2023年度は教育委員会セミナーを全国で12回!!

教育家庭新聞主催

# IT機器の活用と管理、研修

GIGAスクール構想 ICT機器の整備と活用、校務情報化の推進

教育家庭新聞社では、「GIGAスクール構想 ICT機器の整備と活用、校務情報化の推進」をテーマとした教育委員会対象セミナーを年に12回開催します。内容は、教育委員会・学校教諭によるICT機器の整備と活用、推進事例の講演及び企業によるプレゼンと展示です。

お問い合わせ（株）教育家庭新聞社 電話03-3864-8241 https://www.kknews.co.jp

### スケジュール（予定含む）

|                |                       |                |
|----------------|-----------------------|----------------|
| 2023年7月7日(金)   | 第98回教育委員会対象セミナー(東京)   | KFCホール         |
| 2023年7月31日(月)  | 第99回教育委員会対象セミナー(徳島)   | アスティとくしま       |
| 2023年10月3日(火)  | 第100回教育委員会対象セミナー(熊本)  | 熊本城ホール         |
| 2023年10月13日(金) | 第101回教育委員会対象セミナー(金沢)  | 金沢商工会議所        |
| 2023年10月20日(金) | 第102回教育委員会対象セミナー(大阪)  | CIVI研修センター新大阪東 |
| 2023年11月2日(木)  | 第103回教育委員会対象セミナー(札幌)  | 北海道自治労会館       |
| 2023年11月10日(金) | 第104回教育委員会対象セミナー(仙台)  | フォレスト仙台        |
| 2023年12月5日(火)  | 第105回教育委員会対象セミナー(東京)  | KFCホール         |
| 2024年2月6日(火)   | 第106回教育委員会対象セミナー(福岡)  | パピヨン24ガスホール    |
| 2024年2月19日(月)  | 第107回教育委員会対象セミナー(名古屋) | 名古屋銀行協会大ホール    |
| 2024年3月5日(火)   | 第108回教育委員会対象セミナー(神戸)  | 神戸新聞松方ホール      |
| 2024年3月下旬      | 第109回教育委員会対象セミナー(広島)  | 未定             |



教育委員会や学校の活用・推進事例を紹介



企業展示やプレゼンで最新情報を提供